

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告の方法	当社のホームページに掲載する https://www.ferrotec.co.jp/
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 スタンダード

・株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

年間IRカレンダー



Ferro Tec

株式会社 フェローテック ホールディングス

〒103-0027

東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル5階

TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848

URL <https://www.ferrotec.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

第43期 決算報告

2022年4月1日～2023年3月31日

証券コード：6890

Ferro Tec

株式会社 フェローテック ホールディングス

株主の皆さまへ



代表取締役社長
グループCEO
賀 賢漢

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により、影響を受けられた皆さまにお見舞い申し上げます。ここに第43期決算報告をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

第43期は、前半は上海ロックダウンに象徴されるような新型コロナウイルス感染症の社会、経済への影響、後半は半導体需要の調整、米中半導体規制の強化などの影響が見られるなか、当社グループは前年を上回る創業来過去最高の売上高、利益をあげることができました。

当社グループは2022年5月に当初の中期経営計画(22/3月期から24/3月期)の2年度目以降の目標数値等を修正し、より力強い成長をすべく見直しを行った「中期経営計画アップデート版」を公表し、積極的な増産投資、事業投資を実施してまいりました。今期は中国常山地区での増産投資や四川省でのパワー半導体基板の新工場建設などを進めるとともに、日本の石川や熊本、マレーシアといった中国以外の量産拠点づくりも着実に進めてまいりました。また、本期間中には持分法適用会社であった大泉製作所、東洋刃物を子会社化したことに加え、2022年12月に中国部品洗浄事業子会社である安徽富榮徳科技発展股份有限公司の深セン創業板市場への上場を無事完了することができました。

これら施策を進めてこれましたのも、ひとえに株主の皆さまのご理解、ご支援の賜物であると感じております。

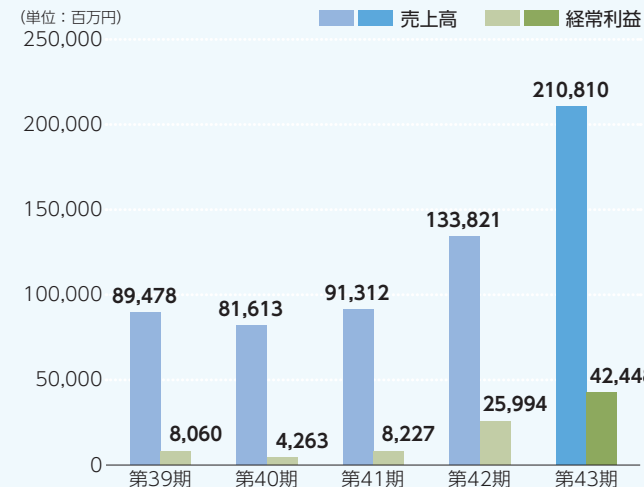
当社グループはこれからも事業成長を追求し、株主の皆さまにとって「成長する楽しみが持てる企業」であり続けるよう努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

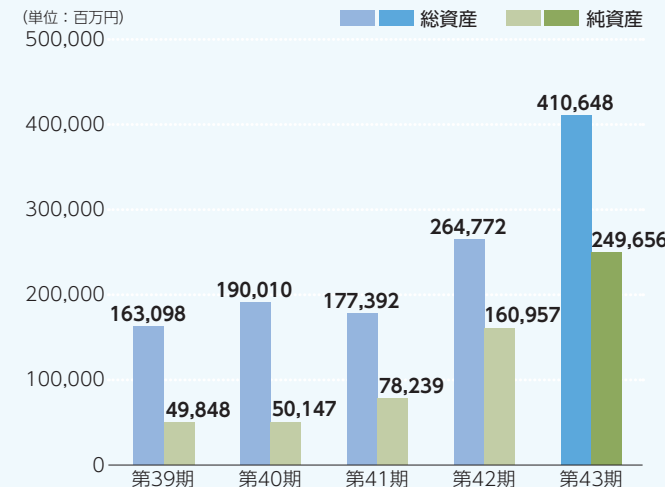
2023年7月吉日

財務ハイライト

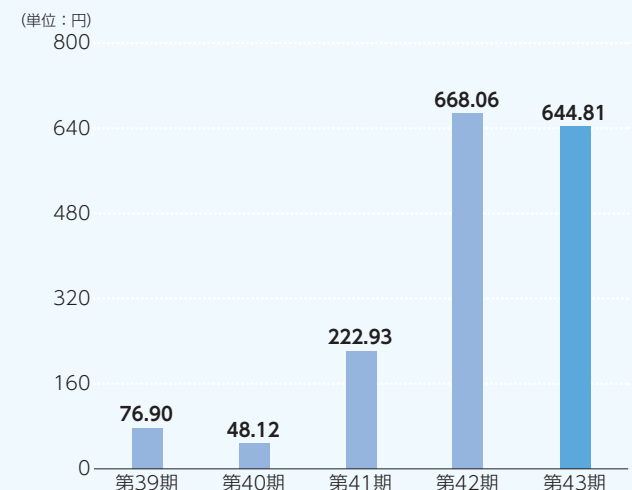
売上高／経常利益



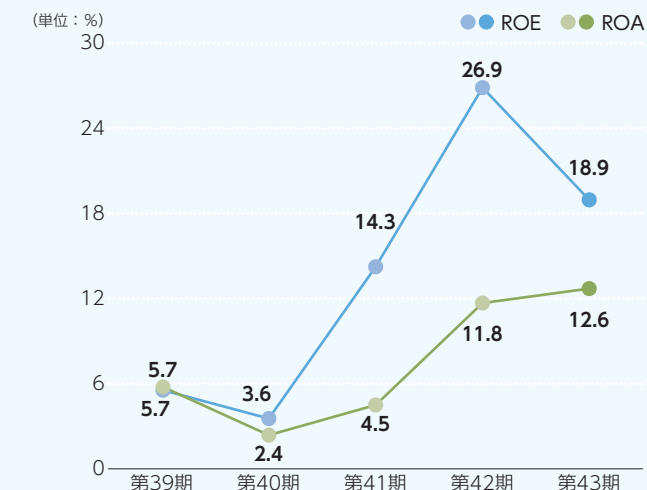
総資産／純資産



1株当たり当期純利益



ROE(自己資本当期純利益率)／ROA(総資産経常利益率)



足元の状況判断から目標KPIを再設定

成長を徹底的に追求する基本方針は不変

事業成長	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 成長の徹底追求、積極投資を継続 ▶ 既存事業の競争力強化・シェアアップに加え、非半導体事業の強化を推進 ▶ 「車載セクター」を新設・戦略的に強化 ▶ 製品開発やM&A等により、事業・製品の多様化を加速
グローバル生産体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ マレーシア拠点の早期稼働 ▶ 石川工場、熊本工場の立ち上げ、「日本回帰」を推進
経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 品質管理の強化を継続 ▶ デジタル化・自動化・AI化・見える化を継続推進 ▶ 人材強化の継続
財務・株主還元	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 財務・投資機会等の適切なバランス確保、当期純利益重視・ROIC管理強化を継続 ▶ 持続的な収益増強により株主還元を増加させていく基本方針、配当性向20%を意識

アップデート後の中期経営計画KPI(23年5月更新)

(金額の単位は百万円)	中期経営計画 (2022/3期~2024/3期)			目標値	
	22/3期(実)	23/3期(実)	24/3期(予)	25/3期(計)	26/3期(計)
売上高	133,821	210,810	220,000	270,000	360,000
営業利益	22,600	35,042	32,500	45,000	60,000
営業利益率	16.9%	16.6%	14.8%	16.7%	17.5%
当期純利益	26,659	29,702	18,000	25,000	36,000
ROE	26.9%	18.9%	15%目標		
ROIC ^{※1}	15.8%	11.9%	8%目標		
自己資本比率	49.5%	44.7%	40%目標		
投資金額 ^{※2}	35,712	56,001	95,700		
1株当たり配当金(年間)	50.0円	105.0円	100.0円		

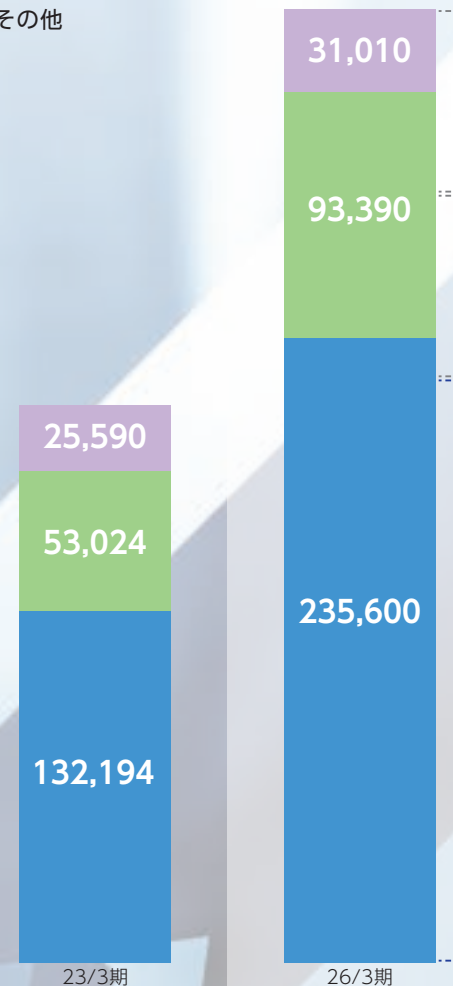
※1 ROIC = 親会社帰属純利益 / (有利子負債 + 純資産) 純資産は新株予約権、非支配株主持分除く
 ※2 投資金額は、有形固定資産、無形固定資産、有価証券の取得等の合計 M&A投資機会により変動する

セグメント・事業別の数値目標(3年後の姿)

売上高の推移

(百万円)

- 半導体等装置関連事業
- 電子デバイス事業
- その他



全体

- 売上高2,108億円⇒3,600億円、3年間で+71%の増収目標
- グローバル生産体制の拡充を着実に進めており、半導体セクターの需要回復時には、目標売上の達成は可能
- デジタル化・自動化・AI化による生産性向上も継続的に実行
- M&A等による事業拡大により、更なる成長も追求

電子デバイスセグメント

- 売上高530億円⇒934億円、3年間で+76%の増収目標
- パワー半導体基板の石川工場設立による生産能力の増強を着実に進めており、2024年より本格稼働する見通し

半導体等装置関連セグメント

- 売上高1,321億円⇒2,356億円、3年間で+78%の増収目標
- グローバル生産体制の拡充、自動化等を着実に進めており、需要回復時には急速な売上拡大の実現が可能
- 常山(石英、金属加工、シリコンパーツ等)
- マレーシア(金属加工、石英、セラミックス)
- 石川(セラミックス)
- 岡山(CVD-SiC)

中国市場における事業基盤の更なる強化

将来の半導体市場成長に対応すべく新工場での生産能力拡大を継続

当社は半導体市場の更なる発展、顧客からの供給能力向上の要請に応えるべく中国国内での生産能力の拡大を継続しております。2023年3月期においても、当社が集中的に増産投資を行っている浙江省常山地区の第二期投資に続き、半導体マテリアル製品の供給力強化を図るため、第三期投資を実施中です。また、成長著しいパワー半導体基板事業の新工場を四川省内江地区にて建設中であり、2023年6月に竣工しました。なお、持分法適用会社で行っているシリコンウエーハ事業においても、より高付加価値な製品であるエピタキシャルウエーハの工場が2022年後半に竣工しました。

今後とも中国における量産能力にさらに磨きをかけ、事業成長を追求してまいります。

浙江省常山			
<p>第二期工場：量産拡大中</p> 	<p>第三期工場：23年内に竣工予定</p> 		
 石英  金属加工  サーマモジュール	 セラミックス  シリコンパーツ  CVD-SiC		
四川省内江			
23年6月竣工			
 <p>パワー半導体基板</p>	<th colspan="2">浙江省麗水</th>	浙江省麗水	
22年竣工			
 <p>Si エピタキシャル・ウエーハ</p>			

中国部品洗浄事業子会社が深セン創業板市場(ChiNext)に上場を果たしました

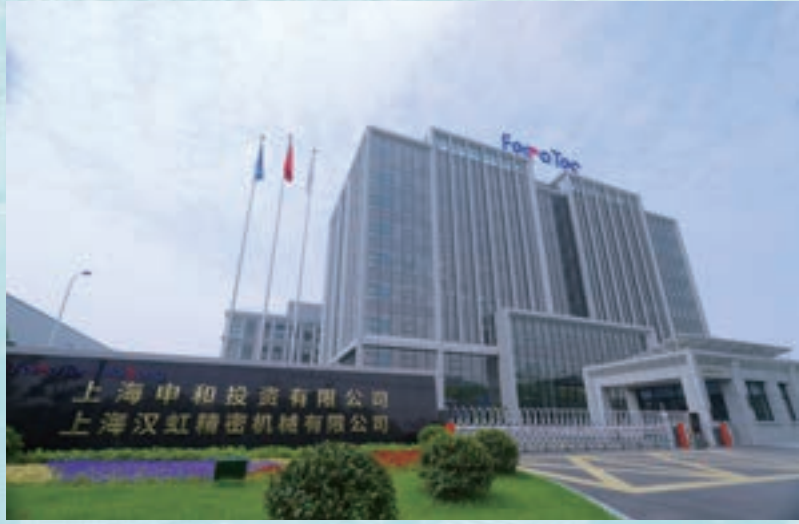
2022年12月30日、当社の中国子会社で部品洗浄事業を手掛ける安徽富楽徳科技発展股份有限公司が深セン証券取引所創業板(ChiNext)に上場を果たし、取引所での上場セレモニーを実施しました。公募価格は8.48元、IPOによる調達金額は約141億円となりました。上場後も公募価格を上回り推移しております。調達した資金は部品洗浄事業の更なる事業拡大のために投じてまいります。



深セン創業板での上場セレモニーの様子

上海の中国本部ビルが完成

この度上海に中国国内事業の統括機能および研究開発機能を強化すべく建設を進めていた「中国本部ビル」が完成しました。地域統括会社である上海申和投資有限公司が入居し、事業統括を強化するとともに、本拠点を軸に、上海地区での研究開発人員等の高度人材の採用、大学・研究機関との関係強化を通じたR&Dの強化、ならびに中国国内におけるブランディング強化を図り、中国事業の更なる発展に努めてまいります。



日本に回帰して日本国内を強化

国内強化へ向けた現在の全体的な進捗状況

既に日本国内では、セラミックス製品を製造する石川工場の第2工場が2022年秋に完成し、2023年夏頃には第3工場の建設に着手する予定です。また、シリコンアイランドと呼ばれ新たな半導体デバイス工場の建設が決まっている九州に、半導体製造装置向け部材製造/装置部品洗浄サービスを提供する拠点として熊本工場を新設することを決め、2023年秋には着工する予定です。加えて、CVD-SiCを生産する岡山工場でも増産投資を行う他、これまで中国で製造してきた金属加工受託ビジネスについては、買収したコスモ・サイエンス社を通じて、日本国内でも事業拡大を図ります。

国内回帰・
国内強化策を
レベルアップ

▶ 新領域への進出：

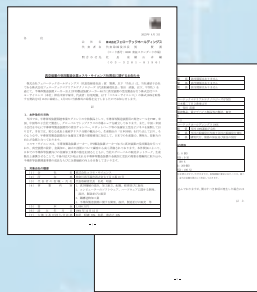
バイオ分野での合併会社を設立：(株)PF・BioLine

- プレシジョン・システム・サイエンス(株)(PSS)51%、当社49%の合併会社を22年10月設立
- 事業内容：ナノ磁性体を利用した生体物質測定の研究・開発および製品販売
- PSS社が有する磁性体反応制御、PCR検査、免疫反応検査等自動化処理システム技術および当該技術に関連する製品と当社が有する磁性流体・サーモモジュール等のコア技術を融合

▶ 既存領域の強化：

真空装置の受託製造企業コスモ・サイエンス社の株式を取得

当社は、連結子会社である株式会社フェローテックマテリアルテクノロジーズ(代表取締役社長：寄田 直康)を通じ、半導体製造装置メーカーおよびFPD製造装置メーカー向けに真空装置の受託製造を行う株式会社コスモ・サイエンスの株式100%を取得しました(2023年4月)。



▶ 更なる設備投資①：

石川第3工場の建設を決定

- 中長期での需要拡大が見込まれる半導体製造装置関連部材「ファインセラミックス」「マシナブルセラミックス」の増産を石川エリアで対応中
- 22年11月 第2工場竣工、第3工場も用地を確保し、24年に竣工予定

(株)フェローテックマテリアルテクノロジーズ



石川第2工場 外観



▶ 更なる設備投資②：

熊本県に半導体関連新工場を建設

(株)フェローテックホールディングス

- 「シリコンアイランド」九州の熊本県大津町に生産拠点を新設予定(24年6月竣工を予定)
- 新拠点では、半導体マテリアル製品、装置部品洗浄の事業を展開



現地取材対応中の賀社長と土地造成の様子(23年3月地鎮祭開催時)



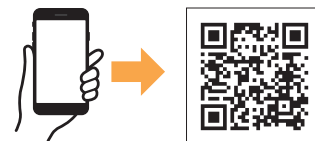
熊本新拠点完成予想図

人的資本強化も視野に入れた プロモーション活動の展開

- 石川・熊本などの事業拡大エリアを中心に6月以降ブランディングを強化し、優秀な人材確保を進めます
- TVCM放映、駅サイネージ広告、SNS活用等を通じて、グループ知名度の向上を図ります



 **YouTubeの公式チャンネルからご覧ください。**
<https://youtu.be/i3Dr7PtpUl0>



地域別売上高構成比

※()は前期の数字



欧米 **31.1%** (37%)

フェローテックヨーロッパ(ドイツ)



日本 **14.1%** (13%)

フェローテック本社

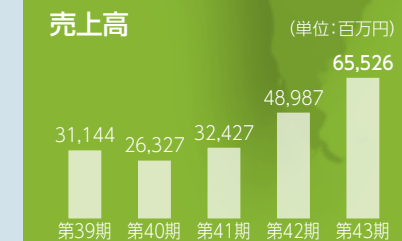


アジア **54.8%** (50%)

フェローテックシンガポール



各エリア別の ポテンシャル



欧米エリア

- 23/3期は前年比+33.8%の増収。前期に続き、全世界的な「デジタル化」「電気自動車(EV)」需要拡大等を背景に、半導体製造装置向けマテリアル製品(石英、セラミックス等)、および金属受託加工が大きく伸長
- 24/3期は半導体向け部材、および医療・バイオ分野におけるサーモモジュール等でピークアウトの傾向が見られるものの、パワー半導体基板は成長を継続する見通し



アジアエリア

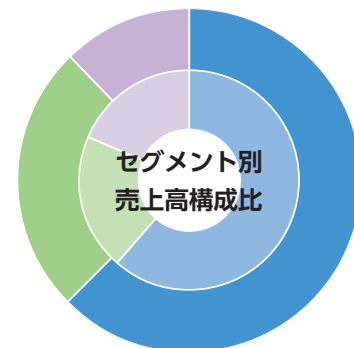
- 23/3期は前年比+72.1%の大幅増収。半導体生産拠点が集中する中国・韓国・台湾顧客向けのマテリアル製品、金属受託加工などが生産能力の増強に応じて好調に推移
- 中国市場では、24/3期に半導体関連部材・サービスが顧客の在庫調整などの影響を受けるものの、徐々にレガシー半導体などでは投資拡大の流れが当社製品にも一定の需要押し効果を示す可能性あり
- 脱炭素社会の流れを受けたパワー半導体基板、および太陽電池業界の需要増を背景とした石英増産については、24/3期も大幅な売上伸長を想定



日本国内

- 23/3期は前年比+67.9%の大幅増収。半導体製造装置向けマテリアル製品、産業機器・車載向けパワー半導体基板などの伸長が顕著
- 当面のところ、日本国内での半導体関連顧客の生産能力増強が相次ぐことから、当社は今後石川、熊本の生産拠点で半導体向け部材、サービスの事業拡大に取り組む

セグメント別事業概況



当社は、製品用途の類似性と販売先業種により区分し「半導体等装置関連事業」「電子デバイス事業」の2事業を報告セグメントとしております。

半導体等装置関連事業
電子デバイス事業
その他

	第42期 (内周)	第43期 (外周)
半導体等装置関連事業	61.4%	62.7%
電子デバイス事業	20.2%	25.2%
その他	18.4%	12.1%

半導体等装置関連事業

世界的なりネットワークやWE B会議の普及もあり、データセンターや通信向けの需要は高水準で推移しました。一方、メモリを中心とする半導体デバイスが在庫調整局面へと突入、米国による中国半導体技術輸出規制強化策もあり、半導体製造装置の需要も年後半には陰りが見られました。こうしたなか、当社の半導体等装置関連事業は、真空部品、半導体マテリアル製品(石英製品・セラミックス製品・シリコンパーツ等)、装置部品洗浄サービスも好調に推移しました。また、増産投資も生産開始により売上増に貢献しました。

売上高 **1,321**億円 営業利益 **240**億円

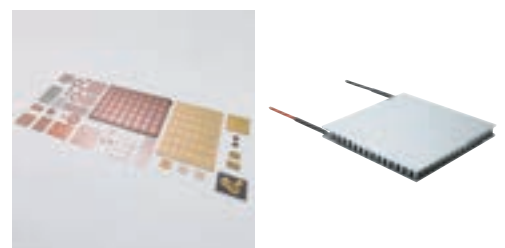


セラミックス製品 真空シール

電子デバイス事業

主力のサーモモジュールは、5G用の移動通信システム機器向けを中心に高水準な販売を維持し、医療向けはPCR検査装置向けが後半伸び悩んだものの全体として大きく売上を伸ばしました。パワー半導体基板は、広範な用途に使用されるDCB基板が底堅く推移したことに加え、AMB基板の中国のEV向けの量産が軌道に乗り大きく販売増となりました。また、第2四半期連結会計期間より連結化した株式会社大泉製作所のセンサの売上、利益も当セグメントに含まれております。

売上高 **530**億円 営業利益 **111**億円



パワー半導体基板 サーモモジュール

※ 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。
各セグメントの売上高は、外部顧客に対する数値を記載しております。

連結財務諸表(要約)

決算情報についての最新情報、詳細につきましては当社のIRサイトをご覧ください。
<https://www.ferrotec.co.jp/ir/>



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 2023年3月31日現在	前期 2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	215,341	133,414
固定資産	195,306	131,358
有形固定資産	139,610	84,083
無形固定資産	6,949	1,996
投資その他の資産	48,745	45,277
資産合計	410,648	264,772
負債の部		
流動負債	111,294	68,800
固定負債	49,697	35,014
負債合計	160,991	103,814
純資産の部		
株主資本	166,955	117,511
その他の包括利益累計額	16,773	13,511
新株予約権	40	45
非支配株主持分	65,887	29,888
純資産合計	249,656	160,957
負債純資産合計	410,648	264,772

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	43,024	17,833
投資活動による キャッシュ・フロー	△68,760	△29,399
財務活動による キャッシュ・フロー	68,718	30,601
現金及び現金同等物に係る 換算差額	344	3,341
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	43,326	22,376
現金及び現金同等物の 期首残高	52,579	30,202
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	△0	-
現金及び現金同等物の 期末残高	95,905	52,579

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	210,810	133,821
売上原価	138,728	85,143
売上総利益	72,081	48,677
販売費及び一般管理費	37,038	26,076
営業利益	35,042	22,600
営業外収益	9,872	4,636
営業外費用	2,466	1,243
経常利益	42,448	25,994
特別利益	856	9,421
特別損失	1,263	1,767
税金等調整前当期純利益	42,041	33,648
法人税等	7,753	5,734
当期純利益	34,288	27,914
非支配株主に帰属する当期純利益	4,585	1,254
親会社株主に帰属する当期純利益	29,702	26,659

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
当期純利益	34,288	27,914
その他の包括利益	4,559	12,402
その他有価証券評価差額金	△130	91
為替換算調整勘定	3,027	8,997
退職給付に係る調整額	99	16
持分法適用会社に対する持分相当額	1,563	3,297
包括利益	38,847	40,316
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	32,964	36,486
非支配株主に係る包括利益	5,882	3,830

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式情報 / 会社情報 (2023年3月31日現在)

株式の状況

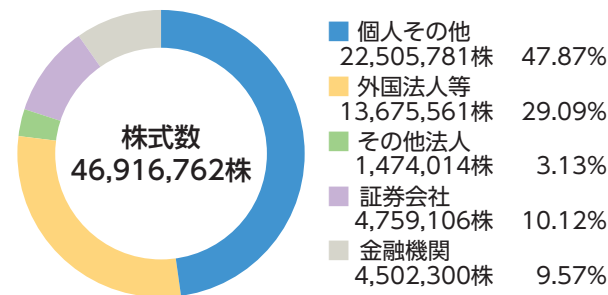
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	47,011,067株
株主数	38,980名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社SBI証券	1,490,659	3.17
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,288,300	2.74
山村 章	853,200	1.81
日本証券金融株式会社	673,400	1.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	671,000	1.43
MSIP CLIENT SECURITIES	650,666	1.38
JPモルガン証券株式会社	650,600	1.38
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	622,700	1.32
BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC	621,539	1.32
JP MORGAN CHASE BANK 385781	607,900	1.29

(注) 1. 当社は、自己株式94,305株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



(注) 1. 自己株式94,305株は上記の円グラフ中の株式数に含まれておりません。
2. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

商号	株式会社フェローテックホールディングス (英文表記) Ferrotec Holdings Corporation
設立	1980年9月27日
資本金	294億2,565万4,052円
株式公開	株式会社東京証券取引所 スタンダード 1996年10月18日(証券コード:6890)
決算期	3月31日
従業員数	13,116名(連結)

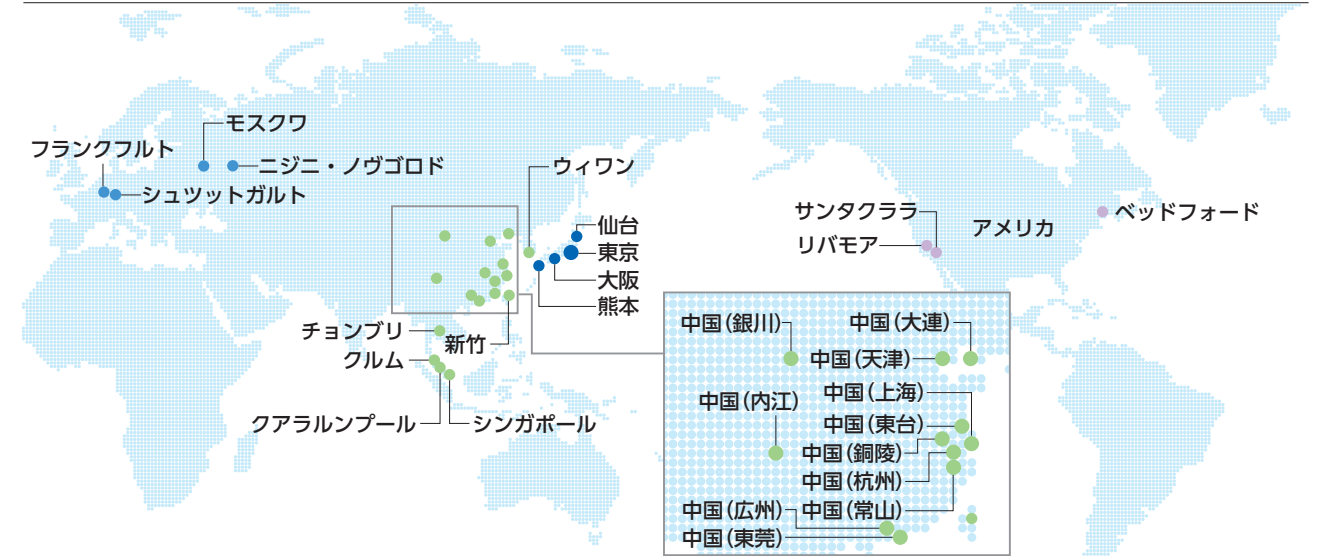
所在地

本社	〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル5階
----	---

役員 (2023年6月29日現在)

取締役	
代表取締役社長	賀 賢 漢
代表取締役副社長	山 村 丈
取締役	並 木 美 代 子
取締役	大 石 純 一 郎
取締役	武 田 明
取締役	佐 藤 昭 広
取締役	宮 永 英 治
社外取締役	岡 田 達 雄
社外取締役	下 岡 郁
社外取締役	玉 川 勝
監査役	
常勤監査役	若 木 啓 男
社外監査役	松 本 拓 生
社外監査役	大 樂 弘 幸

グローバルネットワーク



欧州

- フラン克福ルト (ドイツ)
- シュツットガルト (ドイツ)
- モスクワ (ロシア)
- ニジニ・ノヴゴロド (ロシア)

アジア

- 杭州
- 上海
- 銀川
- 銅陵
- 東莞
- 東台
- 常山
- 天津
- 大連
- シンガポール
- 新竹 (台湾)
- ウィワン (韓国)
- クアラルンプール (マレーシア)
- クリム (マレーシア)
- チョンブリ (タイ)

日本

- 東京 [本社]
- 千葉
- 兵庫
- 石川
- 岡山
- 神奈川
- 山形
- 埼玉
- 青森
- 宮城
- 大阪
- 仙台
- 熊本

米国

- ベッドフォード
- リバモア
- サンタクララ

販売拠点 生産拠点